

ふるさとの良さを宣伝していきたい

大瀬戸豪志氏をふるさと大使に任命

串本町出身の大瀬戸豪志さんが6月12日、串本ふるさと大使に任命され、委嘱式が行われました。

大瀬戸さんは大島出身。立命館大学法学部教授や京都大学大学院情報学研究科客員教授、弁護士など幅広い分野で活躍。また、著作権・特許権等の知的財産関係の実務家との交友関係も広いといった経歴からこの度、串本ふるさと大使に就任していただくこととなりました。



田嶋町長から委嘱状が手渡されました



記念撮影をする田嶋町長と大瀬戸さん

大瀬戸さんの大使就任で串本ふるさと大使は17名になります。

大使の委嘱を受け大瀬戸さんは「自分のふるさとを大事にしたいという思いは強いので、できるだけことはしていきたい。大学関係者や弁護士仲間にも串本町を宣伝していきます」と意気込みを語り、田嶋町長は「町のことをよく知っている大瀬戸さんが串本の良さをアピールしていただければ励みになります」と話しました。

楽しく宇宙について学ぶ

ソラミルフェスタ開催

宇宙ふれあいホール「ソラミル」で、6月15日に施設オープン後初のイベント「ソラミルフェスタ」が開催され、多くの来場者で賑わいました。

イベントは「見て、学んで、体験できる」をテーマに、「おもしろ体験教室」や「フィルムケースロケット飛ばし」のほか、射的やキッチンカーの出店もあり、子どもから大人まで楽しんでいました。「おもしろ体験教室」では、空気砲で空気の流れを観察したり、ドライヤーで簡易な熱気球を作っ



①②体験を楽しむ子どもたち

紀伊田原駅にカイロスロケット応援アート

串本古座高校CGS部がペイント

2月から年度をまたいだ6月までの4日間、串本古座高校CGS部の生徒が、紀伊田原駅舎の一面に宇宙をイメージしたアートを描きました。

この企画は、民間小型ロケット射場「スペースポート紀伊」からカイロスロケットの打ち上げが継続的に予定されていることを受け、地域の機運醸成とJRきくく線の活性化を目的にJRと串本町、企業が共同で地域課題の解決を目指すプロジェクト「ことらぼ×きのくに線」の中で、同校生



①ペイントを施す CGS 部のメンバー②完成したペイント前で記念撮影

徒から「ロケット射場に最も近い紀伊田原駅に、宇宙をイメージしたアートを残したい」という提案があり、実現したものです。2月15日にペイントする壁を白く塗ってキャンバス化し、3月22日には鉛筆で下描きを実施。そして5月31日と6月14日の2日間で下描きに色を塗り、ついに作品が完成しました。

消防団員としての基礎を学ぶ

串本町消防団員普通教育・新入団員任命式

6月15日、サン・ナンタンランの雨天練習場において、串本町消防団員普通教育および新入団員任命式が実施されました。

この訓練は消防団員としての知識と技術を習得するために、新入団員を対象として毎年行われており、今年は町内の分団（串本、潮岬、有田、田並、和深、大島、樫野）から17名が参加。はじめに消防団の井道一馬団長から「消防団員として必要な知識を今日の訓練で学んでください」と激励の挨拶があり、その後、新



①②訓練礼式に励む団員③ホースの巻き方を実践する団員④任命式の様子

入団員たちは、訓練礼式の基本動作、ロープ結索やホースの扱い方などについて串本町消防本部職員から丁寧かつ実践的な指導を受け、暑さに負けず真剣な表情で訓練に励んでいました。訓練終了後、修了書の授与式と新入団員任命式が行われ、一人ひとりに任命書を交付。消防団員としての第一歩を踏み出した新入団員は「今回の訓練で学んだことを分団で活かし、活躍できるように頑張ります」と意気込みを語りました。